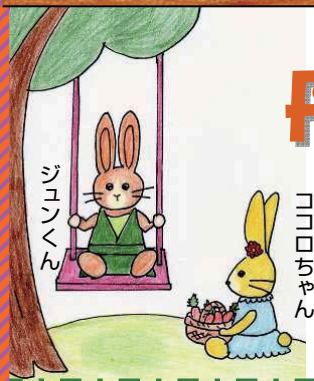




丹後地域 リハビリ通信

第10号

～うさぎのブランコ～

編集／発行

丹後地域リハビリテーション支援センター
(公益財団法人 丹後中央病院リハビリテーション科内)

〒627-8555 京丹後市峰山町杉谷158-1

TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302

e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com

http://www.tangohp.com/tangoshien.html

ホームページよりPDF形式でご覧いただく
ことができます

平成24年度 地域リハビリテーション圏域連絡会の報告

主に平成24年度の事業における目標と4点の行動目標について意見交流をおこないました。

日 時：平成24年6月29日(木曜日) 午後2時～4時

場 所：丹後中央病院 ふたばホール

平成24年度 目標

丹後地域がICF理念に基づき、生活リハビリの視点をもった関わり方ができる

行 動 目 標

- ①丹後地域リハビリテーションセラピスト連絡会(仮称)を開催し、関係者のスキルアップに向けた研修会を実施する
- ②地域包括支援センター等会議への参加時における「生活期リハビリ」に関するミニ勉強会の開催
- ③連携システムの体制づくりのための意識調査
- ④リハ資源が少ない市町に対するリハビリ体制作りを支援(伊根町 他)



たくさんの意見をいただきました

福祉職、介護職がリハ視点を
持てるようなサポートが大事。

いまだに「リハセンに何を
してもらったらいいの？」と
いう人もいます。

在宅のレベルアップだけでなく、
施設内や病院内(急性期の病院も)の
リハビリ(看護)のレベルを上げる必要がある。

地域にでてみて「リハビリは
セラピストがするもの」という意識が
強い事を感じる。

平成24年度 第1回 事例検討会 開催の報告

今回は地域リハセンとして初めて障害児リハを取り上げ事例検討会を行いました。
医療・福祉・教育・行政職など**38**名の方に参加いただきました。

日 時：平成24年8月21日(火曜日)

講 演：「中丹地域リハビリテーション支援センターにおける
障害児・者のリハビリ支援体制について」

講 師：中丹地域リハビリテーション支援センター コーディネーター
小幡 彰一 氏

報告者：障害者生活支援センター結 相談支援専門員
沖上 みゆき氏

シンポジウム：「丹後地域における
障害児リハビリテーションの現状と課題」



講演では自立支援協議会を活用した中丹地域障害児者リハビリテーション
訪問相談モデル事業について個々の事例への
取り組みを中心に紹介いただきました。

モデル事業では、「顔の見える連携が不十分」「継続したリハビリ体制」
「医療的ケアにリハビリ概念が不足」
などの課題もあきらかになりました。



あたりまえの生活ができているかという視点を持ち、その人らしい生活を送るための支援が必要。
小児リハビリの専門機関が少ないことなど、満たされないニーズは地域の課題。



参加者の感想より

- 自分の職域だけにとどまらず、その患者さん、家族のために地域として何ができるのかを考えて行動する事が大切だと感じた。
- 実績を積み上げて新たな制度が作られるという話をお聞きし、自分が今関わっているケースでやれることを、最善を尽くし支援していけたらと思った。
- 社会資源的にはまだまだ少ないとは思いますが、今ある資源も使い切れていない気もする。情報交換、連携しながら地域で支えていくシステムづくり、ネットワークづくりが大切だと思った。

「伊根町のリハビリを考える会」が発足しました

第1回 H24年8月1日(水) 参加者 10名
内容 伊根町の現状把握など

第2回 H24年8月22日(水) 参加者 10名
内容 各事業所の取り組み交流など

第3回 H24年9月26日(水) 参加者 13名
内容 各事業所の取り組み交流など

リハビリテーションの専門的な資源がない伊根町のリハビリテーションを
考えるための会を発足しました。
まずは、リハビリに関する地区把握を行い、今後の取り組みの方向性や
内容について検討しています。
また、介護職などがリハビリの視点を持ったサービス提供ができるために、
昨年度に引き続き、伊根町関係者にむけた事例検討会の実施を計画しています。



【伊根町の現状】(H24.8.1現在)

人口 2,466名

65歳以上の人口 1,022名

高齢化率 41.4%

介護保険認定率24.1%(246名)

高齢者・独居世帯は20%をこえる

強み

○老人の多くは「生涯現役」

○住民と関係者同士「顔の見える関係」

今後の事例検討会・研修会予定

10月31日 第2回事例検討会 対象 伊根町関係者

11月27日 実技研修会「"口から食べる"を支えよう～のみこみやすい食事とは～」

【講師】中山愛美子氏(丹後中央病院 言語聴覚士)

田中奈美恵氏(丹後中央病院 管理栄養士)

【場所】アグリセンター大宮

12月 第3回事例検討会「"口から食べる"を支えよう～摂食・嚥下の評価と訓練～」

【講師】糸井弘美氏(京都府立与謝の海病院 看護師)

【場所】野田川わーくぱる



施設たずね歩き 丹後地域の施設を順に紹介します

今回は総合老人福祉施設はごろも苑をご紹介します。

「笑顔で人と地域を支える施設をめざします」

ご利用者一人ひとりが、楽しく穏やかに、生きがいを感じられるよう、ご本人に合わせてお手伝いをいたします。

ご利用者の方には学習療法(読み書き、計算、数合わせ)に取り組んでもらい、認知症の進行を予防しています。

事業概要

- 長期入苑サービス 定員50名 ●短期入苑サービス 定員20名
- デイサービス 定員28名 ●在宅介護支援センター
- 訪問介護 ●訪問入浴 ●居宅介護支援

在宅介護支援センターの紹介

●居宅ケアマネジャーのコメント

住みなれた家や地域で暮らし続けられるために、お手伝いさせていただきます。お気軽に声をかけてください。

●他の取り組み

認知症の方を介護されているご家族が交流する場として、『こすもすの会』を定期的に開催して、認知症の方やご家族を支援しています。

求人情報

看護師 介護士 募集中

私たちと働きませんか。子育て中のお母さんを支援します。



事業所名

社会福祉法人 みねやま福祉会
総合老人福祉施設 はごろも苑

住所

〒627-0042 京都府京丹後市峰山町長岡2093

連絡先

電話 0772-62-7001
FAX 0772-62-5857



福祉用具紹介 ①

ニュークークル
【メーカー】ランドウォーカー



4つのタイヤで自立し、低床フレーム(またぐ高さは27cm)で乗り降りが楽にできます。

身体機能が低下した高齢者(部分的に障害がある方も含め)が安全に、安心して運転できる自転車です。

【メーカーパンフレットより】

地域リハセンではこれらの福祉用具を実際に試してみることができます。

電話・FAXでお問い合わせください。

TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302

